



年頭のご挨拶

一般社団法人 岩手県畜産協会
会長理事 小野寺 敬 作

新年を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、皆様におかれましては、つつがなく、新たな年をお迎えになられたことに、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの1月の第3波に始まり、4月・5月の第4波、8月・9月の第5波と、新型コロナに振り回された一年でした。そのような中でも、昨年2月からワクチン接種が始まり、接種率の向上とともに、新規感染者数が減少し、9月末には緊急事態宣言が全面解除となりました。

その後、新規感染者数が低い水準で推移し、新たな年を迎えることができました。欧米諸国において、同じようにワクチン接種が行われたにもかかわらず、新規感染者数が高い水準で推移していることを考えれば、誠に幸いな状況となっています。引き続き、基本的な感染防止対策を実践し、この状況が続くことを強く願うばかりでございます。

昨年は、干支が「丑」ということもあり、私も、年頭のご挨拶の中で、本県にゆかりの深い高村光太郎の「岩手の人」と題した詩の一節「岩手の人、沈深牛の如し」を引用し、本県の各般にわたる躍進を祈念したところございましたが、残念ながら、新型コロナとの共存の中で、躍進というより、

辛抱の一年ではなかったかと思うところでございます。

当協会の事業においては、感染リスクの増す「密」を避けるために、通常とは異なる対応を余儀なくされました。そうした中、様々な工夫を凝らしながら、所期の目的達成に向けて最大限の努力を重ねてまいりました。関係する皆様にも、ビジネスパートナーとして、多大のご協力を賜りました。そのお陰もあり、何とか、当初計画していた各種事業も詰めの段階を迎えようとしてございます。関係各位のご支援・ご協力に、心から感謝申し上げたいと存じます。

さて、新型コロナは、ワクチンや治療薬の登場により、感染症としての脅威が減じたとしても、その影響から脱するにはまだまだ時間がかかりそうです。

一方で、社会経済活動の世界規模での急速な再開による物流需要の拡大は、様々な混乱を引き起こすところとなっています。

我が国の畜産は、海外から輸入される飼料原料に大きく依存しています。物流需要の拡大によって、様々な製品を運ぶ船舶の需給がひっ迫し、飼料原料の輸入にも支障を来す状況となっています。加えて、燃料となる原油の供給にも不安要素

(次頁へ続く)

を抱えています。

このように、畜産を取り巻く環境は、体感以上に厳しく、難局ともいえる状況にあります。過去における資材価格の高騰とは様相を異にするところではございますが、関係機関・団体がこの危機感を共有しつつ、一丸となって、必ずやこの難局を乗り越えて参りたいと存じます。

結びとなりますが、令和4年こそは、新型コロナに打ち勝ち、その後遺症からも抜け出して、本県の畜産が躍進する年となりますよう、また、生産者をはじめ関係各位のご隆盛の年となりますよう、衷心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

新春を迎え心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年 元旦

会長理事	小野寺 敬 作	理 事	上 田 幹 也	理 事	谷 崎 勉
副会長理事	高 橋 喜和夫	〃	藤 村 明 智	〃	遠 藤 啓 介
常務理事	渡 辺 亨	〃	主 濱 了	監 事	菅 原 和 則
理 事	杉 原 永 康	〃	中 居 健 一	〃	佐 藤 克 則
〃	高 橋 司	〃	佐々木 一 弥	〃	工 藤 定 幸
〃	佐々木 善 昭	〃	松 浦 利 明		
〃	菊 地 一 男	〃	小 岩 敬 一		職 員 一 同

第65回岩手県畜産共進会

令和3年11月20日に、株式会社いわちくにおいて、第65回岩手県畜産共進会肉牛の部を開催しました。

第65回岩手県畜産共進会は、当初計画では9月に黒毛和種・日本短角種・ホルスタイン種の種畜の部と馬の部を開催することとしていたところ、6月以降の国内での新型コロナ新規感染者数の増加により、9月開催の4部門については中止を余儀なくされました。

11月下旬に予定されていた黒毛和種肉牛の部については、新型コロナの感染防止対策を万全にし

た上で、開催することとして準備を進めて参りました。その新型コロナ対策の要点は次のとおりです。①共進会当日の参加者を必要最小限・事前登録とすること、②表彰式等のセレモニーを実施しないこと、③参加者については過去2週間に濃厚接触者になっていないこと及び家族を含めて発熱・かぜ様症状が無いことなど。

その後、幸いにも、新型コロナの第5波が終息に向かい、9月末をもって緊急事態宣言等が全面解除となりましたが、前述の感染防止対策を緩めることなく開催しました。

合計35頭（去勢26頭・雌9頭）の出品があり、審査の結果、トップの名誉賞には、株式会社小形畜産（岩手ふるさと農協）出品の「勝太郎」号（去勢31か月齢）が輝きました。当該牛は、父が県有

も く じ CONTENTS

年頭のご挨拶	1	令和3年度馬飼養衛生管理技術地方講習会	7
役員のご挨拶	2	令和3年度日本短角種振興協議会情報交換会	8
第65回岩手県畜産共進会	2	令和2年度に岩手県で生産された生乳の体細胞数について	8
第67回葛巻町ホルスタイン共進会・第11回葛巻町和牛共進会	3	畜産の研究(135)	9
令和2年度岩手県獣医畜産業発表会（岩手県畜産技術連盟賞畜産部門）	4	家畜の保健衛生(139)	10
高病原性鳥インフルエンザの発生に備えた訓練の実施状況	5	畜産技術情報(88)	11
畜産フェア開催	6	参考図書のご案内	12
令和3年度畜産生産基盤育成強化事業支援指導研究会	6	子牛市場及び家畜市場成績	12
農場HACCP認証に向けた勉強会	7		

発行所
 一般社団法人 **岩手県畜産協会**
 〒020-0605
 岩手県滝沢市砂込389番7
 ☎ 019-694-1300(代)
 FAX019-694-1305
 Internet Address <http://iwate.lin.gr.jp>
 E-Mail Address info@iwate.lin.gr.jp
 (定価110円)会員の購読料は
 会費に含まれる
 印刷 小松総合印刷製

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

基幹種雄牛の「菊勝久」で、枝肉重量709kg、枝肉歩留66.3、ロース芯面積120平方cm、BMS NO.12など、他を寄せ付けない圧倒的な質と量を兼ね備えていました。

なお、名誉賞獲得の小形畜産は、11月18日に開催された「第50回全国肉用牛枝肉共進会黒毛和種去勢の部」(全国畜産農協連合会主催)において、最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞したばかりです。今後ますます、いわて和牛のレベルアップと知名度アップへの貢献が期待されます。



表 全体の成績

	出品頭数	平均月齢	平均体重	平均歩留	上物率(A4以上)	平均単価	最高額
去勢	26頭	30.6か月	838kg	65.0	96.2%	2,587円	2,268,800円
雌	9頭	29.7か月	719kg	64.0	77.8%	2,371円	1,430,000円
合計	35頭	30.1か月	807kg	64.8	91.4%	2,538円	

第67回葛巻町ホルスタイン共進会・第11回葛巻町和牛共進会

令和3年11月3日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで、標記の両共進会が2年ぶり(昨年は、新型コロナウイルスの影響で開催中止)に開催されました。



挨拶する鈴木重男
葛巻町長

冒頭、両共進会実行委員会会長の鈴木重男葛巻町町長が次のとおりに挨拶(要旨)を行いました。「昭和30年に、今の葛巻町が誕生(1町2村の合併)した。ホルスタイン共進会は、その合併の年に第1回が開催されている。先人たちのたゆまざる努力により、町の歴史と共に歩んできたこの共進会を、この先も長く受け継いで行くことが私たちの役割である。町に初めてホルスタインが導入されたのが明治25年、来年で130年を迎える。節目であり、お祝いの一年にしていきたい。和牛共進会は、今回が11回目、ホル

町の歴史と

スタインと比べれば歴史は浅いが、生産者のご努力により、重要な産業に位置付けられるまでに成長している。和牛繁殖は、高齢になってもできる。町としても、今後の発展を期待している。」



ホルスタイン共進会には、9区分に計42頭の出品があり、審査員は、同町の中六角保広氏が務められました。和牛共進会には、5区分に計30頭の出品があり、審査員は、全農岩手県本部畜産酪農部の菊池和馬氏が務められました。

両共進会の受賞牛は次のとおりです。

【第67回葛巻町ホルスタイン共進会受賞牛】

区分	名号	地区	出品者
名誉賞	未経産 PV MJドア ポツキー ET	葛巻	(株)Peace Valley Dairy
	経産 ストレートファーム ラツキー ソロモン ET	江刈	今待秀幸
準名誉賞	未経産 グリーンリバー サイドキック メモリー	江刈	(株)GRF ホルスタイン
	経産 ピースバレー ラストゴールドドア	葛巻	(株)Peace Valley Dairy

【第11回葛巻町和牛共進会受賞牛】

区分	名号	出品者
名誉賞	未経産 わかこ	端坂秋雄
	経産 すずらん	芳田聡

謹賀新年



ご宿泊・ご宴会にご利用下さい。
くずまき交流館 プラトール
TEL. 0195-66-0555 FAX. 0195-66-0511

乳製品の自宅配達承っております。
ミルクハウスくずまき
TEL. 0195-66-0030 FAX. 0195-66-0031

風車が回る高原の焼肉レストラン
レストラン 袖山高原
TEL/FAX. 0195-68-2010

くずまき高原牧場 一般社団法人 葛巻町畜産開発公社 〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125
http://www.kuzumaki.jp TEL. 0195-66-0211 FAX. 0195-66-0755

令和2年度岩手県獣医畜産業績発表会

岩手県畜産技術連盟賞受賞 (畜産部門)

黒毛和種の分娩間隔短縮に向けたPAG(妊娠関連糖タンパク)検査活用の実証

岩手ふるさと農業協同組合 営農販売グループ
畜産課 及 川 倫 明

胆江地域(奥州市、金ヶ崎町)の和牛繁殖経営における平均分娩間隔は415日(R2.6時点)と、県目標の380日より長い。これによる子牛生産性の低下が経済損失につながっており、改善には受胎に向けた対策と共に、妊娠鑑定の適宜実施による不受胎牛の迅速な把握が必須。しかしながら、当地域においては獣医師の慢性的な不足によりこれらの対応が難しい現状にあります。

そこで、胆江地域肉用牛サポートチームでは、近年酪農経営において定着しつつある乳汁を用いた妊娠判定技術「PAG検査」を取組事例のほとんど無い黒毛和種でも活用し実用できるか胆江地域内農家をモデルに実証しました。

検査は授精後28日目かつ分娩後60日目から可能で、乳汁を採取、検体を検査機関へ発送し最短で32日目に結果が判明します(図1、図2、図3)。但し、早期離乳等での飼養管理下では仔牛に乳汁を吸われない為採取が不可。検査費用は1,400円~3,100円で幅があるのは送料等の影響によるものです。よって検体を集約しての発送により検査費用を抑えることが出来ます。

検査実施頭数は30頭で受胎(+)、不受胎(-)が判定できたものが29検体、1検体は不明で判定率97%でした。検査の精度は+判定の19頭はその



図2 採取した乳汁

後の妊娠鑑定で全て+、-判定の10頭も結果は全て-と一致率は100%となりました。このことからPAG検査は乳牛と同様和牛においても十分有用性があることが明らかになりました。(図4)

分娩間隔は検査を実施した牛は平均で372日になり

Fax: 0197-49-2461				
IDEXX PAG検査サービス 結果報告書				
		結果: + 高値	- 低値	± 判定保留
オーダー番号	検体番号	人工授精日	S-N値	結果
1	-	11月12日	2.325	+
2	-	10/10	3.196	+

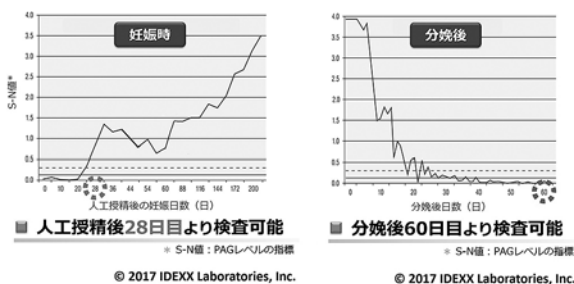
図3 検査結果例

PAG検査数	判定		不明 ±	判定率
	+	-		
30	29	19	10	97%
PAG検査		妊娠鑑定		一致率
結果	検体数	+	-	
+	19	19	0	
-	10	0	10	100%

図4 検査結果

図1 PAG数値について

(引用: アイデックス ラボラトリーズ様より)



結果の判定基準 (数値はPAGレベルを示すS-N値を表す)
+高値: 0.250以上(受胎) -低値: 0.100未満(不受胎)
±判定保留: 0.100以上0.250未満(再検査または別の方法で検査)

ました。比較として実証農家牛群の内、未検査牛群の平均が405日だったことから短縮につながりました。実証牛の授精からPAG検査までの日数を算出すると平均43日で、通常の妊娠鑑정을授精後60日以降の実施とした場合に比べて、妊娠判定の早期化につながりました。

結果として検査結果の的中率は乳牛並みに高いことが分かりました。早期に受胎有無の確認が可能で、特に不受胎の摘発に効果的です。また不受胎への早期処置が可能になったことで、モデル農家における分娩間隔の短縮が認められました。



謹んで新春のお祝詞を申し上げます
母豚 2,000頭の一貫経営

- ・農場HACCP認証農場
- ・良質豚ぶん堆肥の供給
- ・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給

「みなみよ〜とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3

TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373

※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ

一方、乳汁が必要となり普段搾乳されることの無い和牛からの採取は怪我等に注意すること、仔牛が哺乳した後は乳汁採取が困難になるので、採取前一定時間は哺乳出来ない状態にしておく、早期判定の為にその後流産の可能性が懸念されるので、PAG判定と獣医による妊娠鑑定を組み合わせた確実な受胎確認が必要となります。

今後の普及推進に当たり和牛特有の課題として、母子分離した母牛からは乳汁が採取できないことが挙げられます。PAG検査は授精後28日目から検査可能なので、仮に分娩後120日で離乳す

る場合、28日遡って分娩後約90日までに一回目の授精が必要になります。そして仮に分娩後90日で授精したものが受胎すると、分娩間隔は約375日になります。これは県の目標380日以内とほぼ一致します。これを逆手にとって、PAG検査を推進するにあたり「分娩後90日までに一回目の授精」という指標を設定し、支援機関共通認識で農家指導することで分娩間隔短縮に大いに貢献できます。

このことから、「PAG検査」は新たな和牛の妊娠判定技術として実用可能であり、当地域の課題である分娩間隔の短縮に有用であると考えられます。

高病原性鳥インフルエンザの発生に備えた訓練の実施状況

高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の我が国での発生には、季節性が見られ、昨シーズン(令和2年秋冬)は過去最多の発生(家きん、18県52事例)となり、1千万羽近い家きんが殺処分されました。家きん飼養農場で、HPAIの発生が確認された場合には、速やかに(24時間以内)殺処分を完了させることが、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に規定されています。このように発生確認後に素早かつ確実な防疫対応が求められることから、毎年、県内では、防疫演習・訓練が実施されています。

今シーズンは、11月10日の秋田県横手市で国内最初の発生がありましたが、その発生に先立って、県内2か所で防疫訓練が行われました。

県北家畜保健衛生所管内では、10月12日に、二戸地方支部(山村勉県北広域振興局副局長)が主催して、HPAI発生農場等の防疫対策を担う防疫作業支援班員集合施設運営訓練が行われました。この集合施設が、防疫作業支援班員の出動拠点になります。訓練は、防疫資材運搬訓練と集合施設設置訓練の二つに分けられました。運搬訓練は、防疫資材を備蓄施設から集合施設に運搬するものですが、必要な資材・必要な数量を迅速・確実に運搬し、スムーズに使用で



きるよう資材置き場に陳列するところまでになります。集合施設設置訓練は、防疫作業支援班員が集合施設に到着後に、実際に防疫作業に向かう前の流れ、防疫作業を終えて戻ってからの流れ、それぞれ何をする場所なのかエリア分けを短時間で実施し、作業班員の動線を明確にするものです。訓練後に、参加者全員で、気づいたことの話合いが行われ、改善を要する事項が浮かび上がりました。

県南家畜保健衛生所管内では、10月13日に訓練が行われました。訓練は、支援班員集合施設訓練と埋却作業訓練の二つで、今年の日玉は、一般社団法人岩手県建設業協会奥州支部が中心となって実施した埋却作業訓練でした。特に、今回の埋却作業訓練は、より作業が困難となると考えられる夜間を想定したものとなりました。HPAIの発生は昼夜を問いませんし、気温が低い時期に多発する傾向があります。そういった意味では、より厳しい条件下で実地訓練が行われたことにより、得られるものが多かったのではないのでしょうか。

今シーズンは、令和3年12月末日現在までに、国内では既に9県12事例の発生が見られています。発生時の防疫対策に備える一方で、発生を未然に防ぐため、農場での取組に万全を期していただきたいものです。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13
盛岡支店:TEL 019(638)3291

畜産フェア開催

10月31日(日)、盛岡競馬場において、山形県を除く東北5県畜産7団体合同(※)による畜産フェアが開催されました。

この畜産フェアは、地方競馬の活性化を支援するとともに、参加各県の畜産に対する理解促進を図ることを目的としたものです。

当日は、中央競馬の第164回天皇賞の開催日と重なったこともあり、入場者数は、去年の畜産フェア開催時(10月4日)の約1.5倍に当たる3,227人を数えました。

入場門が開く午前11時には、競馬ファンが長蛇の列をなし、開場と同時に、入場者は、畜産フェアのスタッフから、5県の畜産物加工品プレゼント引換券を受け取って、場内馬券売り場に向かって行きました。約1,400枚用意された引換券は、開場から45分ほどで配布終了となりました。



約一か月前の9月30日に新型コロナの緊急事態宣言等が全面解除され、その後も全国的に新規感染者数が着実に減少し、特に、岩手県内では3週間新規感染者ゼロが続く中での開催で、競馬場に本来の日常が戻ってきたことを実感させるものでした。競馬を満喫し、プレゼントを受け取って帰っていく観客の笑顔を目にして、新型コロナが再び繰り返すことのないことを祈りました。

なお、地方競馬の売り上げの一部は、畜産農家の経営改善、後継者の育成、家畜の感染予防等、畜産の振興にも役立てられています。

※ 5県畜産7団体：一般社団法人岩手県畜産協会、一般社団法人青森県畜産協会、公益社団法人秋田県農業公社、秋田県馬事畜産振興協議会、一般社団法人宮城県畜産協会、宮城県地域畜産振興対策協議会、福島県馬事畜産振興協議会

令和3年度畜産生産基盤育成強化事業支援指導研究会

令和3年11月8日、岩手産業文化センターで、標記研究会を開催しました。

まず最初に、前年度の畜産経営体個別支援指導結果を報告するとともに、令和3年度の実施計画(個別支援指導延べ170件、地域支援指導3回)、事業実施スケジュール等を説明し、指導の際の協力を依頼しました。



研究会では、「畜産農家の事業承継に係る税務の留意点」と題して、税理士法人つくし会計の泉館恵太税理士にご講演をいただきました。

経営承継を円滑に進めるた



めには、事前準備として引き継ぐ財産等を明確にし、資産と負債についても漏れが無いよう全て整理する必要があることや、承継方法は売買・貸付・贈与・相続・法人化など様々なケースが考えられることなど、個々の状況に応じた対応が必要になるとのことでした。

また、資産の有無によって判断が異なるケースもあり、精査して実行するまでにはある程度時間が必要となるので、早めに税理士等への相談が望ましいとのことでした。

なお、この研究会は、当協会が岩手県からの委託を受けて実施している事業の一環として開催されたものです。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

<動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材>

本社 〒025-0311花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151代
花巻(営) 0198-26-4700代 八戸(営) 0178-34-2284代
大船渡(営) 0192-26-4740代

プレミックス工場 0198-26-4726代 家畜衛生食品検査センター 0198-26-5375代 大館(営)、横手(営)、青森(営)、古川(営)、山形(営)、酒田(出)、福島(営)、旭川(営)、札幌(営)、帯広(営)、釧路(出)

農場HACCP認証に向けた勉強会

令和3年11月9日、八幡平農業改良普及センター岩手町駐在事務所において、勉強会が行われました。この勉強会は、平成28年に、HACCPに関心のある3戸の酪農経営体の希望に普及センターが応える形で始まり、令和3年で5年目を迎えるものです。

HACCPとは、英語の「Hazard Analysis Critical Control Point」の頭文字をとったもので、日本語では、「危害要因分析必須管理点」と訳されています。

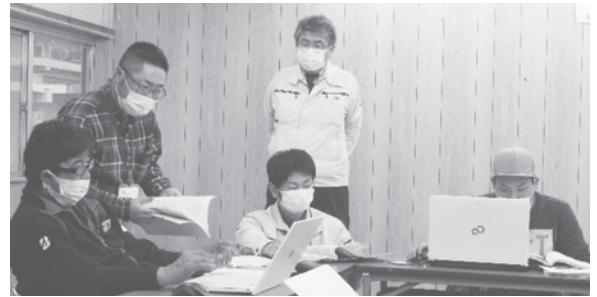
元々は、1960年代に、アメリカ合衆国が宇宙開発を進める過程で、宇宙食などの食品の安全性を確保する方法として考案されたものと言われていいます。今では、畜産分野においても、家畜を健康に飼うため、安全な畜産物を生産するための手法として、農場HACCPが導入されています。

家畜の飼養管理行程で、家畜が健康を損なう原因となり得る箇所（ポイント）で、重点的に適正な管理を行い、家畜の健康を確保する。そのこと

によって結果的には、安全な畜産物の提供につながる。ポイントごとに記録を取り、それを継続することで、家畜の健康・畜産物の安全が確保されることが狙いです。

家畜の健康が保たれることは、間違いなく生産性の向上にもつながり、経営上もプラスとなります。家畜伝染病の農場への侵入防止や感染防止と通じるものがあります。

勉強会に参加する3戸は、当初、5年もかからずにHACCP認証を取得できると期待していましたが、認証基準の改定などもあったため、現在に至っているとのことで、令和4年度中の認証申請に向けて、取組を加速していきたいとのことでした。



令和3年度馬飼養衛生管理技術地方講習会

令和3年11月30日、「岩手産業文化センター」（滝沢市）を会場として標記講習会を開催しました。

まず最初に、「売れる馬を作るためにやるべき哺乳・子馬の飼養管理」と題して、イチヤマホースクリニック（青森県十和田市）の一山雄二郎（獣医師）氏からご講演いただきました。

講演の主な内容は次のとおり。生産者が馬市場に上場し、高値で取引される馬になるように飼育するためには、生まれた子馬の発育期に見られる病気（整形外科疾患）を早期に発見し、治療することが大事なこと。子馬の発育期整形外科疾患（以下「DOD」という。）は、成長期の骨や腱などにみられる病気であり、DODの発症要因には、①遺伝的要因、②急速な成長やバランスの悪い給餌（栄

養）、③解剖学的な構造特性、④運動の過不足、⑤放牧地の硬さ、等があること。DODの代表的な疾患（①離断性骨軟骨症、②骨軟骨症（骨嚢胞）、③骨端炎、④肢軸異常、⑤ウォブラー症候群）の症状及び実際の治療方法。

午後からは、「馬っこパーク・いわて」に移動し、繋養馬を使って、馬市場で購買者に好まれないDODの肢軸異常症（X脚・O脚）の治療実演が行われ、その後、参加獣医師が実地指導を受けました。



謹んで新春のご祝詞を申し上げます

- 共進会用馬・乳牛 } 用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・ ●牛馬手入用毛ブラシ
- 肉牛 } 肉牛用牛衣 根ブラシ・金ぐし
- 普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具
- 電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
- せんてい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別御注文のカバン等承って居ります

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 **塩釜馬具店**

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL019-622-5393（労働福祉会館隣）

令和3年度日本短角種 振興協議会情報交換会

北東北三県と北海道の生産者団体等で構成する日本短角種振興協議会（会長・遠藤譲一久慈市長）の令和3年度情報交換会が、岩手県久慈市で開催されました。

この情報交換会は、道県会員等が一堂に会し、日本短角種に関する会員相互の情報交換・連絡調整を行うことを目的に開催されているものです。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、2年ぶりの開催となりました。

情報交換会では、先ず、道県の出席者から、それぞれの地域における日本短角種の振興に係る取組事例、課題及び要望の説明が行われました。

また、開催地である久慈市山形町における取組として、2名から話題提供していただきました。

有限会社総合農舎山形村の川村周課長からは、同社における短角牛事業について、素材作りの段階から、「安全を第一に考えて、身体に優しい。しかも美味しい。」をテーマにして活動しているとのこと、実際の加工、流通及び情報提供に関する取組をお話いただきました。

柿木畜産代表の柿木敏由貴氏からは、柿木畜産の創業からこれまでの経緯、経営を続ける中で気づいた魅力、また、将来の展望についてお話し



いただきました。

また、山形町の名物イベントである闘牛大会を引き合いに、「牛の死をもって完成する製品（牛肉）だけではなく、日本短角種には闘牛という生き物としての価値もある。」と歴史、気候風土、地域資源も踏まえた、日本短角種の魅力についても熱く語っていただきました。

その後の意見交換・情報交換では、時間が足りなくなるほど、活発な質疑応答が交わされました。

参加者からは、今後も、このような情報交換会を継続して欲しいという声が多く聞かれました。

令和2年度に岩手県で生産 された生乳の体細胞数について



当協会は、東北六県で生産された生乳を対象に、乳成分（乳脂肪分、無脂乳固形分等）、体細胞数、細菌数を検査しています。その件数は年間約70万件にのぼります。

今回は、令和2年度の、岩手県の体細胞数検査成績を紹介します。

乳汁中には、健康な状態でも、白血球や乳腺上皮細胞が含まれています。この二つを体細胞と呼んでいます。

体細胞数という場合には、乳汁1ml含まれる体細胞の数を意味し、この数が50万以上に増えている場合、その牛は乳房炎にかかっていることになります。

乳房炎は主に、細菌の感染によって引き起こされます。乳房炎になると、当然ですが、牛にはス

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

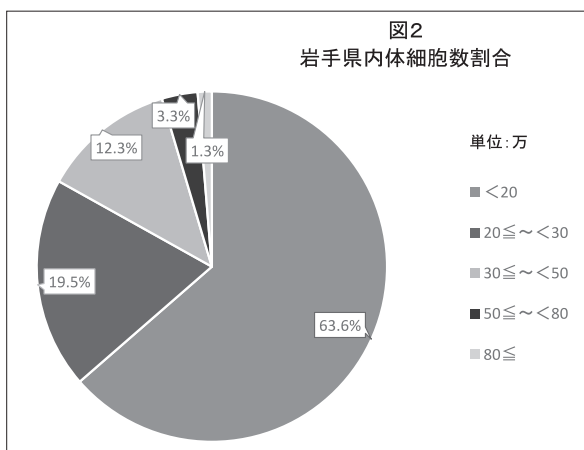
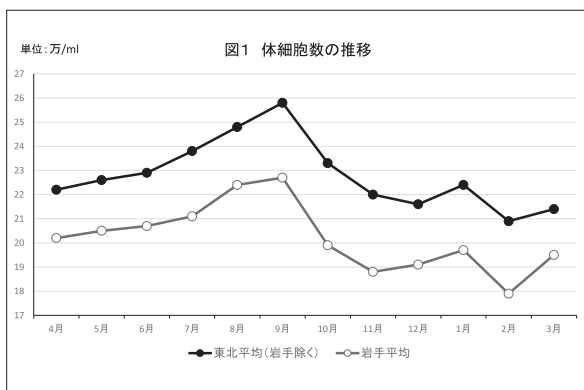


一般社団法人 家畜改良事業団盛岡種雄牛センター

家畜改良事業団では、牛凍結精液の他、全国的な評価が高まっている体外受精卵（IVF卵）、発情周期の同調鈍性発情・卵巣停止に効果を発揮するイージーブリード、凍結精液の保存容器（MVE社製）を取扱っております。ご利用についてのお問い合わせ・パンフレットのご請求は、盛岡種雄牛センターまでお願い致します。

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字柴沢301-5

TEL 019-683-2450 FAX 019-683-1334 <http://liaj.or.jp/morioka/>



トレスがかかります。乳量が減少し、乳質も悪化します。

令和2年度の体細胞数平均値の推移をグラフで示すと図1のようになります。4月から7月までは20~21万個で推移していましたが、その後、夏場にかけて増加に転じ、9月には22.7万個とピークに達しました。

岩手県を除く東北5県の平均値と比較すると、岩手県は常に低い値で推移していることがわかります。

健康(正常)な牛の体細胞数は20万個未満とされ、東北地域の乳質向上目標値も20万個に設定されています。

岩手県の検体のうち20万個未満の割合は63.6%(図2)でした。乳質評価でペナルティーが課せられる30万個以上の検体は、全体の16.9%でした。30万個以上が一度でもあった農場数は、540戸で全体の約7割にもなっています。中には、年24回の検査のうち12回以上でペナルティーの対象(30万個以上)となった農家が56戸ありました。農家の皆さんには、体細胞が高い牛の早期発見・早期治療など、抜本的な対策を講じていただきたいと思います。

畜産の研究 (135)

日本短角種における牛肉中のイノシン酸濃度に関連する遺伝子型の割合と遺伝的パラメータの推定

日本短角種は赤身肉が特徴の肉用牛ですが、既存の枝肉評価では、枝肉重量、ロース芯面積や脂肪交雑といった形質を量的に評価する格付はあるものの、肉の「旨味」を客観的に評価することはできませんでした。

そこで、赤身肉の「旨味」の評価と日本短角種の改良への可能性を検討するために、食品の旨味成分であるイノシン酸濃度に関連する遺伝子の多型解析や遺伝的パラメータを推定したので御紹介します。

【方法】

サンプルは本県で屠畜された日本短角種肥育牛768頭のリブロースとし、屠畜後13日目まで冷蔵

の後、屠畜後14日目に-30℃で使用まで凍結保存しました。

牛肉中イノシン酸濃度に関連する酵素の遺伝子(NT5E)は、サンプルからゲノムDNAを抽出後、制限酵素断片長多型により遺伝子型を判定しました。また、イノシン酸は、サンプルから超純水で抽出し、トリクロロ酢酸で除タンパク後に高速液体クロマトグラフで濃度を測定しました。

イノシン酸濃度及び枝肉6形質の遺伝的パラメータはMTDFREMLを用い、屠畜場、屠畜年、屠畜月、性、肥育農場を母数効果、屠畜月齢を共変量とした多形質アニマルモデルにより推定しました。

【結果】

黒毛和種の研究において、NT5Eの遺伝子には牛肉中のイノシン酸濃度が高くなるQと低くなるqがあることがわかっていますが、測定に用いた日本短角種集団における遺伝子型の保有割合は、QQが1.2%、Qqが10.4%、qqが88.4%であり、

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

<p>○草地造成地用に <small>フツ リナ 刈</small> 草地484号 14-28-14</p> <p>○苦土の補給に <small>フツ リナ 刈 外</small> 草地211号 20-10-10-5</p>	<p>○カリ過剰対策に <small>フツ リナ 刈 外</small> 草地NP260号 12-6-0-9</p> <p>草地NP420号 24-12-0-7</p>
--	--

豊かな大地を育む **B.B.肥料**

くみあい肥料株式会社

〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地 TEL0198-26-3313 FAX0198-26-3316

Qの遺伝子頻度が低く、遺伝子型別の牛肉中のイノシン酸濃度はQQが2.45 μ mol/gと最も高く、qqが1.72 μ mol/gと最も低いことがわかりました(表1)。また、去勢よりも雌が有意に高く、日本短角種は黒毛和種よりも高いことが特徴として挙げられます(表2)。

さらに、牛肉中のイノシン酸濃度の遺伝率は0.16と低いものの、バラの厚さとの遺伝相関は0.75と高い正の相関が認められたことから、牛肉中イノシン酸濃度の遺伝的改良は、同時にバラの厚さの改良も期待できることがわかりました(表3)。

本研究は「日本短角種の高品質赤肉生産開発事業」(JRA 畜産振興事業)で実施しました。

表1 NT5Eの遺伝子型の割合と牛肉中イノシン酸濃度

遺伝子型	QQ	Qq	qq
割合(%)	1.2	10.4	88.4
イノシン酸濃度(μ mol/g)	2.45 ^a	2.13 ^a	1.72 ^b

※1 n=730 (QQ:9、Qq:76、qq:645)
 ※2 異符号間に5%水準で有意差あり

表2 日本短角種及び黒毛和種における牛肉中イノシン酸濃度(μ mol/g)

	日本短角種		黒毛和種	
	n	イノシン酸濃度	n	イノシン酸濃度
去勢	437	1.67 \pm 1.12 ^a	193	0.46 \pm 0.02 ^a
雌	293	1.93 \pm 0.93 ^b	69	0.70 \pm 0.07 ^b

※1 黒毛和種のデータは「黒毛和種牛肉中に含まれるイノシン酸およびグルタミン酸の含有量に及ぼす各種要因について」(福井県畜産試験場研究報告第30号)から引用
 ※2 各品種において異符号間に5%水準で有意差あり

表3 枝肉6形質及び牛肉中イノシン酸濃度の遺伝率、遺伝相関、表型相関

	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	イノシン酸
枝肉重量	0.36	-0.21	0.29	0.14	-0.39	-0.05	0.30
ロース芯面積	0.24	0.39	-0.02	-0.52	0.86	-0.01	0.31
バラ厚	0.52	0.25	0.30	0.24	<0.01	-0.11	<u>0.75</u>
皮下脂肪厚	0.36	-0.07	0.31	0.54	-0.81	0.34	0.33
歩留	-0.23	0.71	0.13	-0.67	0.66	-0.09	0.10
BMS	0.09	0.04	0.13	0.08	-0.01	0.11	0.26
イノシン酸	0.01	-0.01	0.04	0.02	-0.01	-0.06	0.16

対角線上が遺伝率、対角線上側が遺伝相関、下側が表型相関

家畜の保健衛生 (139)

飼養衛生管理基準(豚)の改正と一斉点検の実施について

令和3年10月1日付けで家畜伝染病予防法施行規則の一部改正が行われ、飼養衛生管理基準の内容が見直されました(全40項目)。改正前は、野生動物の侵入防止対策の徹底など、侵入防止を主眼として厳格な基準遵守を求めるものでしたが、今回の改正では、万が一の発生に備えた事前準備の徹底を求める項目が追加されました。これは、令和2年度シーズンの高病原性鳥インフルエンザ

の過去最大の発生やワクチン接種農場での豚熱の発生で明らかになった課題に対応するものです。今回の豚に関する主な改正点は、以下のとおりで、特に大規模農場について、発生時の備えを万全にすることが求められていますが、これらは中小規模の農場にも必要な備えになりますので、今一度確認をお願いします。

また、これらを踏まえ、すべての豚及びいのししの飼養農場を対象として、令和3年11月に下表の7項目について、飼養衛生管理者による自己点検を実施していただいたところです。自己点検は、3か月毎に実施し、家畜保健衛生所に報告するとともに、不遵守となった項目については、速やかな改善が必要となります。

養豚農場においては、ワクチン接種後も油断することなく、引き続き飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。

1 畜舎ごとの飼養衛生管理者の配置【大規模農場※】

飼養衛生管理者1人当たりの管理上限頭数を、母豚3千頭または肥育豚1万頭と規定。飼養頭数に応じた管理者を増員配置すること。(※ 大規模農場：総飼養頭数3,000頭以上の農場)

2 発生対応計画の事前策定【大規模農場】

大規模農場のうち、特に家畜の頭数が多く監視伝染病が発生した場合の殺処分等に多大な時間を要すると県が認めた農場は、その発生に備

一斉点検の実施項目

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等 (項目15)
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用 (項目16)
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等 (項目17)
- ④ 畜舎に立ち入る者の手指消毒等 (項目25)
- ⑤ 畜舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用 (項目26)
- ⑥ 畜舎外での病原体の汚染防止 (項目28)
- ⑦ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒 (項目32)

※ (カッコ内)は飼養衛生管理基準の該当する項目番号

えた対応計画（家畜の死体の焼却又は埋却の実施に関する事項を含む。）を策定すること。

3 埋却地確保の取組の明確化【全農場】

豚熱、アフリカ豚熱及び口蹄疫等の患畜・疑

似患畜の死体を埋却するための土地（目安として飼養頭数×0.9㎡）又は焼却のための施設を確保すること。確保が困難な場合の対応について、市町村等の行政機関と具体的な協議が必要。

畜産技術情報 (88)

飼料作物への堆肥利用のポイントについて

肥料価格の高騰や供給不足のため、堆肥の有効利用が一層求められています。堆肥の性質を理解して、効果的に利用しましょう。

1 家畜ふん堆肥を効果的に利用するために未熟なものの利用は避ける

未熟な家畜ふん堆肥は汚物感と不快な臭気があるだけでなく、作物に対して様々な障害をもたらします。また、一定の温度経過による発酵が不十分であるため、雑草種子や病原菌、寄生虫卵を含むこともあり、自家圃場に施用する場合であっても十分に腐熟させる必要があります。

未熟堆肥を施用した場合、下記のような作物への害を与えます。

障 害	内 容
窒素過剰	未熟堆肥は易分解性有機物を多く含むため、土壤に施用すると有機物が急激に分解されてアンモニア態窒素の濃度が高まる。そのため、作物根が濃度障害を起こすことがある。
窒素欠乏	副資材を大量に含む未熟堆肥はC/N比が高い。このため、土壤に施用すると微生物が急激に増殖することで微生物体内に窒素が固定され、作物が利用できなくなる。この窒素欠乏の状態を窒素飢餓と呼ぶ。
生育阻害物質	未熟堆肥には、フェノール物質、低級脂肪酸、タンニンなどの生育阻害物質が含まれる。土壤中に生育阻害物質が多く含まれると作物の発芽率低下や生育不良を招き、収量や品質を低下させる。

2 化成肥料低減のために家畜ふん堆肥や牛尿を利用する

岩手県内の畜産農家等の堆肥及び牛尿の分析を行ったところ、堆肥及び牛尿の各成分ともバラツキがみられました。堆肥や牛尿の施用量は、各農家の経験によって決定されていますが、肥料成分のバラツキが大きい堆肥や牛尿を合理的に施用するには、化学分析や施用試験により、成分含有率や肥効率を把握することが必要です。しかし、施用の現場においてこれらを行うことは困難であることから、成分を推定し、肥効率を参考に施用量を決定します。詳細は営農支援機関へご相談ください。

・家畜ふん尿の肥料成分推定法

堆肥や牛尿のEC（電気伝導度）を測定し、各成分の推定式に当てはめるもので、成分分析に要する時間は堆肥では40分程度、牛尿では数分です。

・家畜ふん尿の肥効率

家畜ふん尿処理物中成分の肥効率は畜種ごとに異なりますが、牛ふん堆肥では、窒素で20-30%、リン酸で60%、カリで90%程度となっています。

・家畜ふん尿の化学肥料代替量

肥料成分推定値と肥効率とを掛け合わせるにより、化学肥料代替量の推定値を算出できます。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

小ロットのオンデマンド印刷から
大量商業印刷まで

各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援



CTPシステム

小松総合印刷株式会社

岩手県盛岡市鉦屋町15-4 TEL (019)624-1374 FAX (019)623-6719
E-mail:mail@komatsu-gp.com URL:http://www.komatsu-gp.com

参考図書のご案内

よくわかる「よりよい消毒」



関 令二 著 (価格・1,430円 (税込・送料別))

国内外の豊富な科学的研究の成果に基づき、消毒の基本的な考え方をはじめ、場所や物に合わせた具体的かつ適切な消毒の実施方法について解説しています。農場での消毒にあたり、責任を持って実施する立場にある飼養衛生管理者の方々をはじめ、農場の指導にあたる獣医師、畜産技術者の方々に広くお読みいただける1冊です。

【主な内容】

- ① 畜鶏舎周囲の環境改善の必要性
- ② 畜産現場における水衛生問題とその対応
- ③ 消毒の3原則、濃度・湿度・時間+pH
- ④ 消毒資材としての消石灰とその効果 他

お問い合わせ・お申し込みは
畜産協会へ

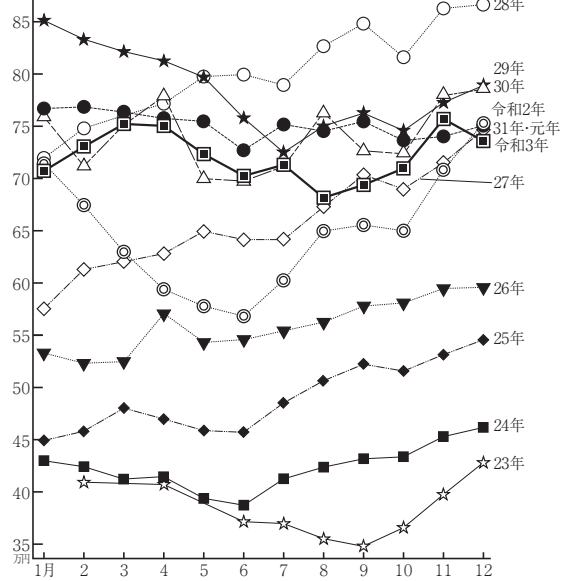
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和3年11月			令和3年12月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	76	711,599	290	113	747,708	288
	雄						
	去勢	140	772,703	327	161	769,406	318
	計	216	751,203	314	274	760,457	306
県南2日目 磐井	雌	108	743,620	288	119	710,868	288
	雄	1	234,300	333			
	去勢	150	791,494	322	152	805,591	319
	計	259	769,380	308	271	763,997	306
中央初日 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	120	733,920	287	111	723,166	283
	雄						
	去勢	180	770,012	317	190	753,488	312
	計	300	755,575	305	301	742,306	301
中央2日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	133	723,635	279	129	711,657	276
	雄						
	去勢	195	781,141	309	237	717,608	299
	計	328	757,823	297	366	715,511	291
中央3日目 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	153	742,816	270	156	726,282	270
	雄						
	去勢	223	759,518	302	242	705,177	294
	計	376	752,722	289	398	713,449	285
合計	雌	590	732,809	282	628	723,662	280
	雄	1	234,300	333			
	去勢	888	773,874	314	982	743,598	307
	計	1,479	757,127	301	1,610	735,821	296

※ 価格は円 (税込み)、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	令和3年11月		令和3年12月	
	頭数	平均価格	頭数	平均価格
黒毛和種	978頭	739,787円	1,087頭	725,157円
褐毛和種	-	-	-	-
日本短角種	2頭	282,150円	-	-
ホルスタイン種	-	-	-	-
交雑種 (母がホルスタイン種)	4頭	277,475円	3頭	275,367円

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛 (区分ごとに体重の範囲が定められている)
※ 平均価格は消費税込み

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 5

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

畜産現場の「今」を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信内容: 畜産の最新研究・技術を見る / 豚の肉質を中心とした育種改良技術 / 鶏肉特集第1弾江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集! / 他

(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産